

団体名		社会福祉法人 武蔵野				
①	指 標 名	施設修繕計画の策定			目 標 値	施設の適正な維持管理と修繕計画に則した 資金計画
	過 去 の 実 績	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	-	-	-	法人所有建物の老朽化が進む中、法人全体の修繕計画の策定が 課題となっていた。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2 月改正)の具体的な取組の該当項目				(1) 経営健全性の確保	
	設 定 理 由 等	法人設立30周年を迎え、法人所有建物が増加し老朽化が進む中、法人全体の修繕計画が課題となっていた。またその計画に基づく資 金計画の必要性も求められてきた。				
取 組 内 容	建築系専門職員のいない法人において、外部の専門家に委託することにより、令和5年度中に修繕計画を策定する。策定後は法人内で優先順 位をつけ、資金計画をつくり、修繕等着手への準備を行う。福祉作業所の建て替え計画が先行し、建て替えに伴う資金計画との調整も必要とな る。また、運営の厳しい特別養護老人ホームゆとりえの今後の方向性も合わせて検討する。					
②	指 標 名	健全経営のための財務改善			目 標 値	40,000,000円
	過 去 の 実 績	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 円)	29,092,452	2,738,324	25,172,471	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、目標達成に至ってい ない。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2 月改正)の具体的な取組の該当項目				(1) 経営健全性の確保	
	設 定 理 由 等	福祉作業所の建て替えや、借り入れ金の返済、経年劣化していく法人所有施設の修繕・改修に向けた積立等、一層の収益性拡大と経 費の削減を行う必要がある。コロナ後の経済状況の回復を踏まえ、事業全体の見直しを図り、収支の改善を継続課題とする。 また、福祉作業所の建て替え及び障害者総合センターやゆとりえの大規模修繕に必要な費用を計画的に積立てていく。				
取 組 内 容	第五期中期基本計画に沿った取組みを継続していく。 ・事業及び業務の見直しの継続 ・サービス報酬増額への取組み ・ICT導入等による事務の更なる効率化を目指す。 ・ミライズ基金の周知と活用 ・職員給与・手当見直しの検討を継続 ・施設修繕計画の作成 ・施設修繕計画に基づく計画的な積立					
③	指 標 名	第六期中期基本計画の策定			目 標 値	次期(令和7~9年度)の計画策定
	過 去 の 実 績	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	-	-	-	令和3~5年度の第五期中期基本計画を踏まえ、次期の計画を策 定する。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2 月改正)の具体的な取組の該当項目				(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し	
	設 定 理 由 等	令和3~5年度の第五期中期基本計画を踏まえ、次期の計画を策定する。市の障害者計画・第6期障害福祉計画及び高齢者福祉計 画・第9期介護保険事業計画の策定期間と同じとなるため、市の方向性を注視しながら計画の策定を進める。				
取 組 内 容	施設修繕計画及び福祉作業所の建て替え等も計画に盛り込む必要がある。法人職員は市の計画策定の委員や、部会の委員となっているため、 市への情報提供及び、市との情報共有を図りながら計画策定を進めていく。また、法人内職員の人材育成の観点から法人内の計画策定には、第 五期を策定した職員と新規に策定に参加する職員が連携・協力しながら進めていく。					